

令和5年8月4日

## 学校関係者評価委員会 議事録

- 【委員長・株式会社オンサイト・代表取締役 渡邊】
- 【株式会社 EAM・代表取締役 小野寺】
- 【岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授・布川】
- 【株式会社東北共立・代表取締役 岸浪】
- 【株式会社メディア PR 代表取締役・金塚】
- 【定禅寺 SJF 教会代表理事 武藤】
- 【株式会社 BB グラフィックス・代表取締役 播磨】
- 【本町新光町内会 会長・落合】
- 【卒業生・株式会社エドワードアンドカンパニー・執行役員 川北】

- 事務局【菅原学園法人本部長 菅原淳】
- 【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】
  - 【専門学校デジタルアーツ仙台・教務課長 飛田】
  - 【専門学校デジタルアーツ仙台・学生課長 鈴木】
  - 【専門学校デジタルアーツ仙台・入学相談課長 石田】
  - 【専門学校デジタルアーツ仙台・主任 深谷】

### ○開会挨拶

事務局【菅原学園法人本部長 菅原淳】

### ○学校評価委員会紹介

事務局・学校評価委員、各委員の紹介

### ○企業連携状況に関する説明

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】  
企業連携として声優アーティスト科ではオーディション対策を実施している。また東京の声優事務所、プロダクション・エースからは週に一回プロの声優を講師として迎え授業を担当してもらっている。この事務所には卒業生も入所しており声優として3名が活動している。

【専門学校デジタルアーツ仙台・学生課長 鈴木】  
デザイン科では講師でもあるアイプロジェクトさんと協力し、本町商店街を取材し雑誌のページにするところまでを実習として行なっている。2年生の学生全員を対象に、取材をしたいお店を選び、アポイント・取材・撮影・校正まで一連の流れを行なっている。授業だけでは経験できない良い経験ができて

いる。

【専門学校デジタルアーツ仙台・教務課長 飛田】

イラスト・マンガアニメ科では石ノ森萬画館と協力して学生によるワークショップや、学生作品の展示会を10月から実施を予定している。

○自己評価に関する討議、意見交換

進行：学校評価委員・委員長 渡邊（株式会社オンサイト 代表取締役）

（1）教育理念・目標

【委員長・渡邊】

全て評価4だが、どのような取り組みをしているか。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

例年通り、目標は達成している。

【岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授・布川】

学生生活マニュアルはどれくらい時間をかけて説明をしているか。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

オリエンテーション内で60～90分ほどかけて説明をしている。

（2）学校運営

【委員長・渡邊】

「h. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか」が評価3なのはなぜか。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

昨年から改善はしてきているがWi-Fiルーターの性能に差がある。階や時間によって繋がりにくい時があり、改善へ向けて作業を進めている。

（3）教育活動

【委員長・渡邊】

「l. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか」「n. 職員の能力開発のための研修が行われているか」の2項目が評価3なのはこういった理由によるものか？

【専門学校デジタルアーツ仙台・飛田】

「l. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか」について優れた人材確保のために情報収集を行なっているが、待遇面や本業との兼ね合いの問題もあり、まだマネジメントとしては行えていない。学校として良い教育をする上で良い人材の確保は必要なことなので、今後もマネジメントとして対応していきたい。

「n. 職員の能力開発のための研修が行われているか」については、スクールカウンセラーと連携しメンタル面で問題を抱えた学生の対応について講習会を実施している。また新任教員研修や学生募集のための勉強会も実施している。

（4）学習成果

【委員長・渡邊】

「b. 資格取得率の向上が図られているか」のみ評価4で他は評価3になっているのはなぜか。

【専門学校デジタルアーツ仙台・学生課長 鈴木】

就職については学科によって差がある。ITソリューション科や情報システム科など、システムエンジニア系学科は好調だが、他の科は求人が増えてきてはいるものの厳しい状況がある。キャリアサポートセンターや各担任と連携し就職指導を実施している。

退学防止について今年度から課長面談を実施し、担任一人で抱える体制を改善している。また年々精神的に不安定な学生が増えており、課題提出による単位認定も次年度へ向けて検討している。

【卒業生・株式会社エドワードアンドカンパニー・執行役員 川北】

ミュージックスタッフ科の卒業生であるが、在学中にはなかったサポートだと思うので良い取り組みだと思う。

【委員長・渡邊】

就職率について目標を達成している科はあるか？

【専門学校デジタルアーツ仙台・学生課長 鈴木】

ITソリューション科と情報システム科は毎年高い確率で目標を達成している。

（5）学生支援

【委員長・渡邊】

「h. 卒業生への支援体制はあるか」「i. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか」の2項目が評価3なのはどのような理由によるものか？

【専門学校デジタルアーツ仙台・学生課長 鈴木】

「h. 卒業生への支援体制はあるか」について、進路が決まらないまま卒業した学生は担任ベースで電話・メール等を使い支援を続けているが、音信不通になる学生も出てしまう現状がある。

「i. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか」については、機材の更新頻度の問題があるため各科で慎重に対応している。

【委員長・渡邊】

卒業生の支援について何か対策はあるか？

【専門学校デジタルアーツ仙台・学生課長 鈴木】

同窓会のような体制を整えたいという声はあるが、まだ計画段階で止まっている。

【株式会社東北共立・代表取締役 岸浪】

卒業生の就職斡旋として、担任を中心に声かけをしてもらっている。

【株式会社メディア PR 代表取締役・金塚】

「g. 保護者と適切に連携しているか」の項目が昨年3から4へ上がったのは何故か。

【専門学校デジタルアーツ仙台・学生課長 鈴木】

出席不良学生の保護者とこまめに連絡をとり、学生指導に繋げている。

(6) 教育環境

【委員長・渡邊】

全ての評価が3になっているのは何故か

【専門学校デジタルアーツ仙台・教務課長 飛田】

状況は昨年とあまり変わっていないが、設備については学科ごとに人数の偏りもあるので予算をもとに優先順位を考え上手く見定めている。昨今の物価高騰で機材を揃えられない現状もある。

インターンシップについては、学生に緊張感を持たせるという意味でも必要なものだと考えている。

防災については毎年シェイクアウト訓練を実施している。昨今では雨による災害も想定した訓練が必要だと考えている。非常食として水を備蓄している。

【本町新光町内会 会長・落合】

神社の倉庫に非常食の備蓄があるので、必要な場合は助け合っていきたい。

【株式会社メディア PR 代表取締役・金塚】

暑さも災害だと思うので、暑さ指数を表示するアラートも必要だと思う。屋内でも熱中症のリスクはあ

る。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

こまめな水分補給を促しているが、現状は各自の判断に任せている。熱中症だけではないが、救急車での搬送が毎年3～4件ある。

【岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授・布川】

昔は講義中の飲食は駄目だったが、昨今では水分補給を勧めている。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

昔とは状況が変わってきていて、学生たちも積極的な水分補給をするようになってきている。

【定禅寺 SJF 教会代表理事 武藤】

ジャズフェスでも毎年暑さ対策を考え、朝に水を配布するなど対策をしている。ボランティアで参加してくれる人のためにも、安心して参加できる環境を作りたい。

【委員長・渡邊】

ジャズフェスでは救護施設はあるのか。

【定禅寺 SJF 教会代表理事 武藤】

以前は市民広場に救護テントを設けていたが、昨今は急病人が出た場所で救急車を呼ぶようにしている。移動の問題もあるので、警察や病院とも協議の結果そういった対応を行なっている。

(7) 学生の受入れ募集

【委員長・渡邊】

全ての評価が4になっているのは何故か。

【専門学校デジタルアーツ仙台・入学相談課長 石田】

今年度から各校に入学相談課ができたので、普段の授業を受け持つ教員がガイダンスなど外へ出やすい状況になった。検定試験の合格率や科の現状を伝えやすくなったと感じている。物価の高騰などのため学費の見直しもあったが適切に行われてと考えている。

【委員長・渡邊】

募集人数に対して現状は満足しているか。

【専門学校デジタルアーツ仙台・入学相談課長 石田】

科によって状況は違うと考えている。強豪校もあるので学校のカラーを大事にしつつ、募集活動を行な

っていききたい。

【委員長・渡邊】

今後の募集活動の方針としては、強いところを強化するのか、弱いところを伸ばすのか。

【専門学校デジタルアーツ仙台・入学相談課長 石田】

贅沢かもしれないが強いところを維持しつつ、弱いところも強化していきたい。

(8) 財務

(9) 法令等の遵守

【委員長・渡邊】

全ての評価が4になっているのは何故か。

事務局【菅原学園法人本部長 菅原淳】

財務に関しては適正な運営を行っており、HP に全て公表している。少子高齢化のため安定した学生数の確保が必要であると考えている。現状として学生数は横這いだが、物価高騰などで経費が上がっているため学費の見直しを実施している。

【委員長・渡邊】

新校舎はどのように運用していくか。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

クリエイティブ系のみでの運用で、イラスト・マンガアニメ科、声優アーティスト科、ミュージックスタッフ科以外の学科が新校舎へ移る予定となっている。

(10) 社会貢献・地域貢献掲示

【委員長・渡邊】

全ての評価が3になっているのは何故か。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

コロナ禍での人数制限等があったため評価3になっているが、今年度は改善してくると思っている。また東北大学と連携し、シニア層に向けたデジタルデバイスの講習会を開催し、地域貢献にも努めている。評価は4に近い3になっている。

## (11) 国際交流

### 【委員長・渡邊】

全ての評価が4になっているのは何故か。

### 【専門学校デジタルアーツ仙台・教務課長 飛田】

評価4はついているが、コロナの影響をとっても受けた。そんな中でも90名の学生を良いたちで卒業させられたのは良かったと考えている。今年度は定員80名に対して25名の入学。次年度の募集は現在約200名の留学生に接触し、50～60名の入学を想定している。

### 【委員長・渡邊】

関東圏だと留学生の行方不明などの話を聞いたことがあるが、そういったことはあるのか。

### 【専門学校デジタルアーツ仙台・教務課長 飛田】

本校ではそういった事例はない。留学生の進路として国際情報ビジネス科を卒業してからイラスト・マンガアニメかに入学した学生もいる。今後は至誠館大学への編入も考えて欲しい。

## (12) 意見交換

### 【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

生成AIについての取り組みはどうしているか。

### 【岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授・布川】

新しいものが出た時は世間から否定されることが多い。まず使用してみたいと考えているが、著作権には注意が必要だと思う。

### 【株式会社メディアPR 代表取締役・金塚】

広告業界、特にコピーライターは脅威に感じている。タレントを起用するよりもスキャンダルの影響もないので生成AIは今後増えると思う。

### 【株式会社BBグラフィックス・代表取締役 播磨】

CG業界も影響を受けているが、AIは便利に使っていきたいと考えている。学校としては使い方を学生に教え、それを「どう使うか」「どうピックアップするか」は人間なので、使用する人間がしっかりしていれば問題ないのではないかと考えている。

### 【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

AIについては現在、積極的に使うようにしている。様々な使い方を試しているが、文章として成り立っている。文章の添削には使えるのではないかと考えている。使い方が大切だと感じている。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

LGBTについて、トイレ問題など企業で何か問題はあるか？

【株式会社東北共立・代表取締役 岸浪】

実際に公表している人はいる。トイレ問題は分からないが、女性だが男性として仕事をしている。

【岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授・布川】

トイレ問題については難しい問題だと思う。教育委員会の指示に委ねている。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

メンタル面が弱い学生が年々増えてきているが、何か対策はしているか。

【株式会社東北共立・代表取締役 岸浪】

新入社員のメンタル状況は入社試験・面接だけでは分からない。入社後の研修期間で把握しないといけないと考えている。人によって受け取り方が違うので、指導方針をその人に合ったやり方にするのが望ましい。昔のように平等に同じ指導ではいけないと感じている。

【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】

昔のような根性論は、今は通用しない。カウンセラーを入れて保健室登校などについても考えていかなければいけない。

【株式会社東北共立・代表取締役 岸浪】

職場でメンタル問題など何かあれば、産業医に相談させている。専門家の判断に委ねるようにしている。

【委員長・渡邊】

その他、何かあるか。

【株式会社東北共立・代表取締役 岸浪】

インターンシップの具体的な話があれば受け入れていきたい。

○閉会の挨拶

事務局【専門学校デジタルアーツ仙台・副校長 井村】